



瓜生小だより

令和元年度 第10号
令和元年12月25日

責任を果たすこと

校長 吉田 正行

朝、子供たちを出迎え、飼育小屋の前に行くと、飼育委員会の子供たちが小屋の掃除やうさぎにえさをやっていました。12月に入り、水も冷たくなり掃除も大変です。それでも、当番の児童はうさぎに優しく声をかけながら楽しそうに世話をしていました。

さて、私が幼い頃の話です。家でにわとりを数羽飼っていました。小屋の掃除、えさやり、卵をとりに行くことが私の仕事になっていました。しかし、私はその仕事あまり好きではありませんでした。理由は、にわとり小屋が家から少し離れているところにあったこと、ふんの掃除などで汚れること、雨や雪の日には手が冷たくなるのが嫌だったからです。

ある日の夕方、祖母が「今日のえさはやってくれたの」と私に聞いてきました。その日は友達と遊んでいて、あとでえさをやろうと思っていました。しかし、遊びに夢中になって、仕事を後回しにし、えさをやりそびれてしまいました。それなのに祖母に怒られたくなかった私は、「ちゃんとあげたよ」とうそをついてしまいました。

その後、夕食と風呂を済ませ、布団に入りました。そこでふと、にわたりのことが気になりだしました。「朝になって、私がえさをやらなかったために死んでいたらどうしよう」と思い、胸がドキドキしてきました。夜は小屋の周りは明かりもなく、真っ暗で怖い。おまけに雨が降っています。

心の中は、「行かなければ・・・、行きたくない・・・どうしよう、どうしよう・・・」と心配でなかなか寝付けません。

1時間ぐらいでしょうか、布団の中で迷った末に懐中電灯を持つ

て小屋へ向かいました。傘を差し、胸の高鳴りをおさえながら小屋に行き、中に懐中電灯の光を当てました。すると、にわとりはきよとんとした目でこちらを見ていました。「よかった。生きていた」その時のほっとした気持ちは今でも覚えています。えさをやり、水を替え、走って家に戻りました。布団にもぐりこむと、安心してぐっすり眠ることができました。

学校でも学級での当番活動、委員会等で自分の役割をしっかりと果たさなければならない場面があります。瓜生小学校の子供たちはそこでも責任を自覚し、真剣に取り組みます。ぜひ、明日からの冬休み中ご家庭でも家族の一員として、仕事を分担してほしいと思います。自分の役割を果たして認められることは、責任感を強め、自信を深めることにつながります。

最後に、今日で二学期も終了し、令和元年もあと一週間を残すのみとなりました。本校の教育にかかわっていただいた全ての方々に感謝するとともに、皆様にとって新しい年が良い年になることをお祈りいたします。



えさを食べるうさぎのふくちゃん

せいかつしゅうかん

【生活習慣のふりかえり 12月】 □に各自のふりかえりを記入する

あいさつ へんじ

挨拶・返事

自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。……………

やさしいことば

優しい言葉

優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。……………

がくしゅう どくしょ

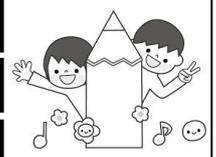
学習・読書

家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。…

しんせつ こうどう

親切な行動

親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。…



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にしてくださいよう願います。